



青山学院大学
AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY

19年度ラクロス部男子 OB総会

2019年4月13日
幹事会



はじめに

1. OB会の目的 (OB会会則第2条)

- *現役チームとの親睦、強化と支援
- *OB間の交流 (体育会OB連合会との連携)

2. 中長期目標

- *常勝青学ラクロス部 (関東FINAL4常連) をサポートする事。
- *強い青学ラクロス部員であるのみならず、その活動を通じて人間力を磨き、広い世界を舞台に活躍し、社会貢献出来る人材を育成、輩出する事をサポートする事。

3. 短期目標

- *まずは、関東学生リーグ一部昇格を目指し、サポートする事。

上記実現に向けて、幹事会としてOB会を取りまとめ、円滑な運営を図るべく、各グループにて諸施策の実務遂行を取り進めて参ります。



I. 19年度 青学ラクロスOB会活動方針のご説明

-1. 中長期視点の試み

-2. 短期の地に足をつけた取組み

-3. 組織の変更

II. 会計報告 ・ 19年度予算

III. グループ別活動報告・チーム強化プロジェクト

IV. 決議 ～多くの質疑をお受けし回答後に～

V. コーチ体制



I. 19年度 青学ラクロスOB会活動方針のご説明

-1. 中長期視点の試み

-2. 短期の地に足をつけた取組み

-3. 組織の変更

II. 会計報告 ・ 19年度予算

III. グループ別活動報告・チーム強化プロジェクト

IV. 決議 ～多くの質疑をお受けし回答後に～

V. コーチ体制

あなたの力を貸してほしい、これがAGULAX-Aの立ち位置

【幹事会のココロ】

- ①(OB・後輩には) 自分自身の**目標達成**を通じ**社会**に出ても**やり抜いた**という**自信**を持って**力を発揮**し続けてほしい
- ②**競技力**では他大学が**OBの知恵**を駆使。負けたくない
- ③男女200名の**体育会最大人員**。**青学の看板**を背負ってないか
- ④誰にでも**堂々と語れる**OB会の**基盤作り**とは何か
- ⑤学長や連合会会長はじめ**周囲の期待**とマッチするか

- ⑥**自腹**を切って支払う団体は**持続性**に欠く、やめたい
- ⑦**多額**の資金を預かるのでとことん“**透明性**”にこだわる！
- ⑧**標準的水準**に達するべく**広範囲**を同時にカバーする**仲間**
- ⑨**自分の力**で**貢献**できると思う人が**遠慮なく**集まれる場
- ⑩冷静に**偏りなく**多くを**振り返り**経験を積み上げる**文化**

体育会の歴史の新しい一歩 連合会は一般社団法人化へ

3/22 大学と連合会 協定書調印

2019年4月1日から 一般社団法人 青山学院大学体育会OBOG連合会 になります。

Aoyamagakuin Academic Athlete



出所: 3/25 OB会長会

4/18 委嘱状授与式 学長から指導者へ

3/1 大学スポーツ協会 (UNIVAS) 青山学院大学 参画

学内

学外

ビジョンと並行しOB交流と後輩育成の母体作りにトライ

概念



領域	テーマ	18年度	
		評価	コメント
ビジョン	自分達らしさ 自己実現	△	新経営宣言(学校法人)・AOYAMA VISION(大学)・AAA(連合会)を注視しAGULAX-Aのビジョンづくりに着手し 33のなりたい姿 をドラフト(18/1月～) 文武両道・自由闊達な世界のAGU化 に重ねつつ、先回りし顧問先生ほか関係者報告し取りまとめ。OBOGの力を結集し到達すべき目標を共有も 浸透は道半ば
	青山学院への 関わり方	△-	Be the difference 新経営宣言から1年経過とリマインド実施(11/15) 同窓祭 を現場確認し次年度参加の検討を共有(9/23) 幹事会・各代表のマンパワーの 巻き込み不足 実感
愛校心	他団体寄付	×	連合会へ2年間計40万円支払い完。他団体寄付は 現時点なし 将来を見据え会費捻出検討の素地作りから着手
	レガシー 活用機会	×	ごみ拾い・清掃等のボランティア参加、地域社会貢献を高める等に至らず。OB会、体育会OBOG連合会でも 進展なし 五輪は東京よりも 28年ロス五輪正式種目化 が実感しやすいか
五輪	多様な思考・1-29期	△	フィジカル・メンタルの 多様な 関わり方のきっかけとして産業勉強会を立ち上げ 隔月開催 し今まで 関わりが薄い OBを 巻き込む も 20期以降には工夫 必要か
	OGとの協調	○	OG巻き込み を産業勉強会をきっかけに実現。OGからの学びとして卒業後5年の支払い義務の規律等を学ぶ。顧問熊谷先生は女子決勝を観戦
	就活支援	○	メンター制 にトライし OG巻き込み 。動機付け・ESはじめ 丁寧に個別支援 (ABM)
	現役チーム支援 母体づくり	△	青学卒コーチ候補リストや学生チームスタッフとOBの担当領域の整理をはじめ 中期コーチ計画の可視化 にトライ。OB会内に 強化プロジェクト を立ち上げ
	社会人選手支援	×	日本代表や代表候補選出OBへの支援を仕組み化し 経験還元を狙うも、 修正予算での実行 なし

保険拡充等の安全安心の手当てや透明性は高まっているか

		18年度	
領域	課題	評価	コメント
振り返る文化	効果測定	○-	OB自身が何事も丁寧に振り返るマナーや関係者報告する振り返り文化を醸成、産業勉強会ほか各Grで振り返り実施
安全・安心	現役生 セーフティネット	△	地上最速格闘球技ラクロスに存分に打ち込むことができるよう保険拡充などを狙うも現状まともに留まる。サッカー部・アメフト部のカバー領域調査は未着手。有事弁護を大学と協議できるかの情報入手(9/23無料相談)
	慶弔	○	弔問対応できる備えを前進させ、HP掲載メニュー追加
会計の透明性	会計監査スキル	△	通帳・伝表管理・第三者説明の仕組み化にトライ中。四半期発信に一手間かけ分かりやすさを加え、会計監査・現役チームとのコミュニケーションを11月以降に拡大
	水面下発生の多額な個人負担	○	コーチ陣の交通費自腹払いや会議室等の個人負担取りやめ。会費から全額捻出し持ち出しゼロへ。OBに活動を理解してもらえるようOB会費の依頼を継続
	入金しやすさ	○	決済手段のマルチ化、単価見直しほか入金しやすさを改善(BASE)
名簿管理	精度向上	△	大きな進展ないが地道にアップデート継続、ハンド対応のため依然精度に粗さ残る
情報共有・頻度	ニュースの量・厚み SHエンゲージ	○	HP立上げ、メール発信との相乗効果発揮。校友会利用のため維持費ゼロ 全体を俯瞰し第三者説明できる情報基盤を整理 OB向メール 13回/年 → HP記事 6-3月 73件(8.1件/月) OB幹事会議事録、コーチズミッション結果等の共有、Player立上げ、連合会や学校法人青山学院Newsの利用、FaceBook立上げで交流を後押し、Ookami社とネット寄付金立上げetc.

すぐ
実行



I. 19年度 青学ラクロスOB会活動方針のご説明

-1. 中長期視点の試み

-2. 短期の地に足をつけた取組み

-3. 組織の変更

II. 会計報告 ・ 19年度予算

III. グループ別活動報告・チーム強化プロジェクト

IV. 決議 ～多くの質疑をお受けし回答後に～

V. コーチ体制

具体的取組み事項

I-2.地に足をつけた取組み

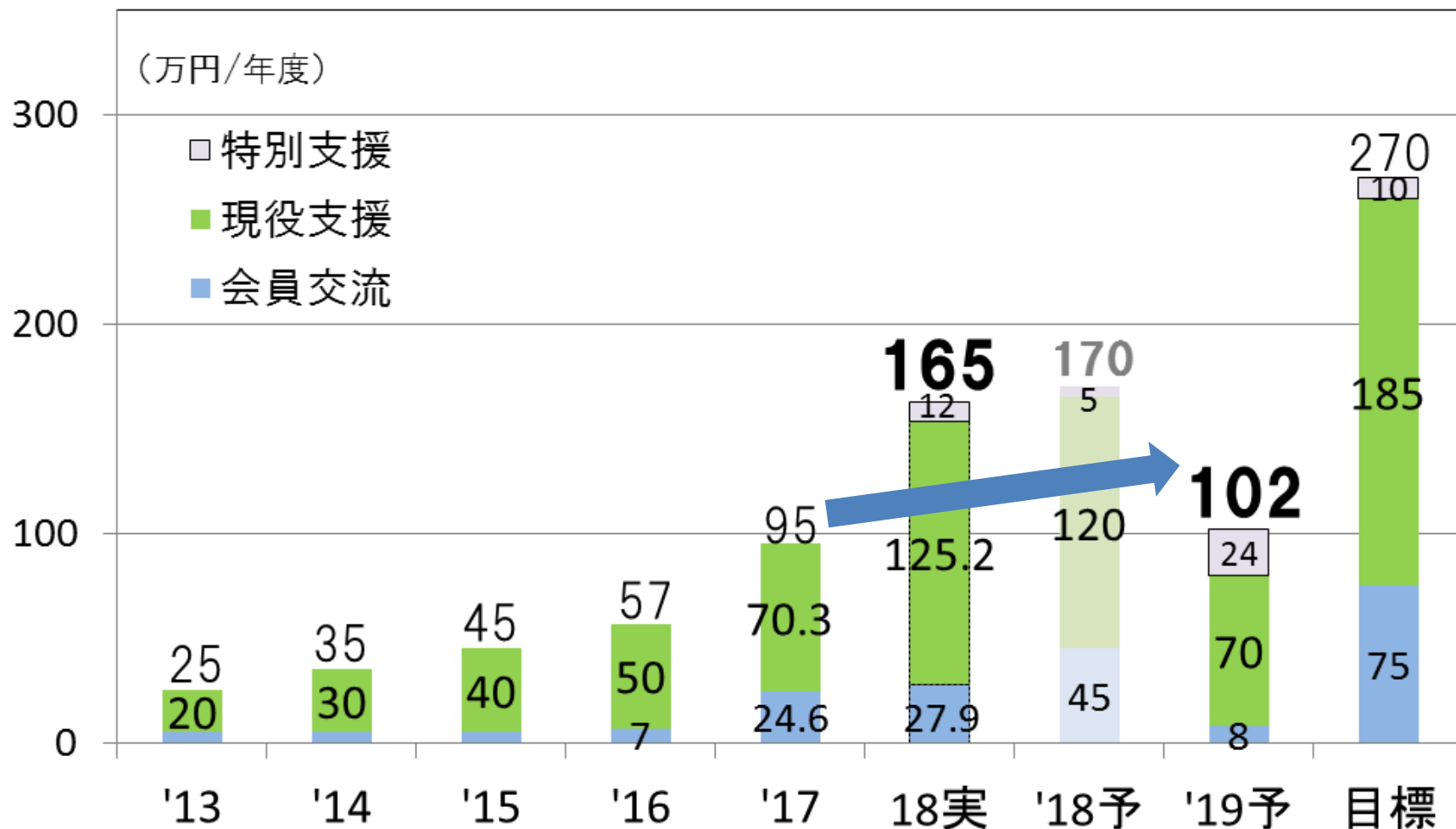
17年度よりSHへの活動強化中 19年もあらゆる機会を創出

■年度別ステークホルダー別 新規活動

年度	会員 (人)	現役支援	就活	OB	会員交流	交流	会計	顧問	OBOG	大学	ご父兄
		プレー		交流	手段				連合会	校友会	
2017	244	用具費支援 グラント代支援 コチ費支援 小 OB表彰	就活相談会 小 就活セミナー	OB戦 産業勉強会 (2回)	メール	OB総会 30年史まとめ 産業勉強会 他大学ベンチマーク 中長期ビジョン	四半期 実績発信	熊谷教授 四半期報告	総会 イベント支援 コーチセッション	OB会則 経済学部講義 産業論 第15回	
大学											新経営宣言
2018	255	コーチ費支援 合宿費支援	就活支援 メンタ制(5名) 個別支援	産業勉強会 (6回)	HP開設 アクセス数モニター Player! Live配信 寄付金pit FB・DROP BOX	幹事会議事録 OG連携 被災・訃報	会計監査	↑	改革協議 委員会 アンケート 三木学長懇談 ゴルフコンパ参加	AI*Gr代表者会 議 AGUビジョン共有	
連合会											一般社団法人化 ①人材育成 ②大学のスポーツブランド力向上
2019	275	強化PJT 海外短期留学 ラクロス保険拡充 コンプラインス ガバナンス強化	就活セミナー 3年・2・1年生 対象拡大	4年生 卒論プレゼン	動画配信	各代表集い ゴルフコンパ他 社会人選手支援 海外駐在者便り 同窓祭	決済手段 (BASE) 修正予算	↑	学長懇談 就職支援 コーチズS 広報 各委員会拡大	↑	父兄会

昨年度支出へご賛同頂いたが、身の丈予算に下方修正

■年度別支出金額



情報発信はHPで一元管理 “青学ラクロスOB会”検索



青山学院校友会
AOYAMA GAKUIN ALUMNI ASSOCIATION

青山学院校友会TOP > アイビーグループ >
青山学院大学体育会ラクロス部OB(OG)会

文字の大きさ 小 中 大

サイト内を検索します

検索

アイビーグループ

青山学院大学体育会ラクロス部OB(OG)会

このサイトでは、青山学院大学体育会ラクロス部OB(OG)会の活動についてお知らせしています。



メニュー Menu

TOPページ

活動報告

活動予定

広報

イベント情報

試合情報

新着情報 News

RSS

お知らせ

一覧

19年度OB総会 4月13日(土)開催のお知らせ

青山学院大学体育会ラクロス部OB各位 掲題について、以下の通りご案内申し上げます。1. 2019年度OB総会 日時:2019年4月13日(土) 受付開始14:00 総会14:30-16:00 場所:青山学院大学 青山キャンパス 17号館 17511 2. 懇親会 (関東...

賛助会費納入サイト
賛助会費
ご協力をお願い

住所等変更手続

校友のための集いの施設
校友会グリーンエリア
ご利用案内

校友のためのスペース
校友サロンの

アクセス件数を毎月振り返り、関心層数の変化をモニター

閲覧状況(2018.6.1~2019.3.31累計)

すべて » ページタイトル: 青山学院大学体育会ラクロス部OB(OG)会_青山学院校友会 ▾

2018/06/01 - 2019/03/31 ▾

すべてのユーザー
3.34% ページビュー数

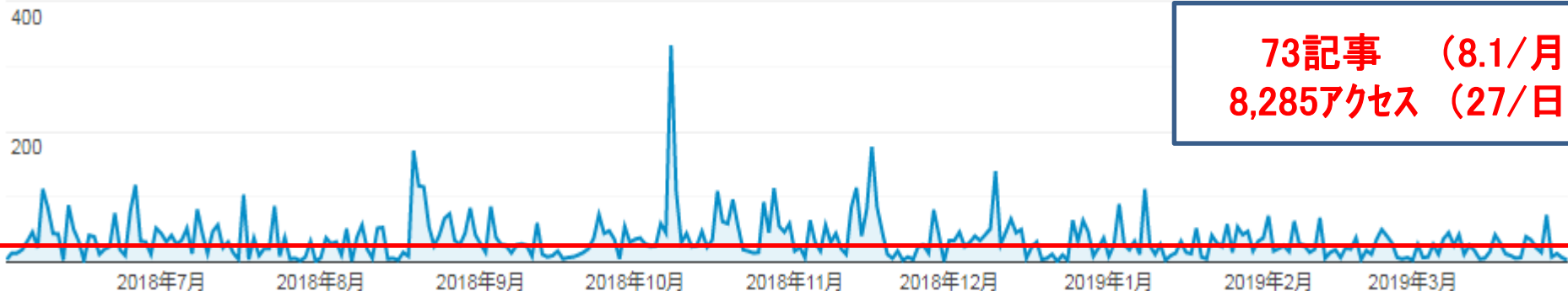
+ セグメントを追加

エクスプローラ ナビゲーションサマリー

ページビュー数 ▾ 対 指標を選択

日 週 月  

● ページビュー数



青山学院大学体育会ラクロス部

青山学院大学 体育会 ラクロス部 現役男子チーム

松本主将 増田副主将 渋谷主務 (ほか)

現役女子
チーム

青山学院大学体育会ラクロス部 OB会

OB会長：温湯(1期)

各代代表：

1期：高木	16期：大土井
2期：竹花	17期：中村
3期：三國	18期：青木(俊)
4期：梶原	19期：本田
5期：熊坂	20期：女川
6期：大原	21期：竹田
7期：松延	22期：福田
8期：長島	23期：日比
9期：黒崎	24期：根岸
10期：日高	25期：渡邊
11期：青木(恵)	26期：湊原
12期：江幡	27期：小山
13期：安本	28期：武藤
14期：内藤	29期：未定
15期：小倉	

OB幹事会

幹事長：江幡(12期) 補佐：竹花(2期)

幹事：加藤(11期)

青木(恵)(11期)

是永(12期)

安本(13期)

田中(雄)(13期)

中村(17期)

越智(28期)

29期より選出予定

*社会人1～3年目は、幹事入り(18.3卒より)

総務Gr.：江幡リーダー(兼)/青木(恵)

渉外Gr.：中村リーダー/越智

会計Gr.：安本リーダー/加藤

強化支援Pjt.：是永リーダー

HP改善：OB会長(兼)

会計監査：田中(雄) 幹事

OG会長

篠

木下
岩部(ほか)



I. 19年度 青学ラクロスOB会活動方針のご説明

- 1. 中長期視点の試み
- 2. 短期の地に足をつけた取組み
- 3. 組織の変更

II. 会計報告 ・ 19年度予算

III. グループ別活動報告・チーム強化プロジェクト

IV. 決議 ～多くの質疑をお受けし回答後に～

V. コーチ体制

OB会費が想定を大きく下回るも、現役支援を優先し赤字収支

収入:¥1,088,149 支出:¥1,630,888 収支:▲¥534,359 (単年度赤字収支)

◆収入 予算 ¥1,500,000 実績 ¥1,088,149 差異 ▲¥411,851 (単位:円)

No.	主な項目	当初予算	実績	差異	分析
1	前年度繰越金	¥1,052,178	¥1,052,178	¥0	※合計に含まず
2	OB会費	¥1,300,000	¥801,140	▲¥498,860	現役支援額拡大のため、前年度(900千)からの増加を見込むも、若い世代を中心に支援金が大幅に落ち込み ※「【別紙】OB会費_各代別支援状況」参照
3	大学からの支援金 (コーチ活動費)	¥200,000	¥200,000	¥0	全額をコーチ活動費に充当
4	その他	¥0	¥87,009	¥87,009	産業勉強会の会費・寄付など
合計		¥1,500,000	¥1,088,149	▲¥411,851	

◆支出 予算 ¥1,695,000 実績 ¥1,652,724 差異 ▲¥42,276 (単位:円)

No.	主な項目	当初予算	実績	差異	分析
1	現役チームの強化と支援	¥1,200,000	¥1,252,456	¥52,456	グラウンド代/520千、コーチ代/632千、備品代/100千 OB会費が大幅に落ち込んだが、予定通り支出
2	会員間の交流	¥100,000	¥37,768	▲¥62,232	
3	渉外グループ活動費	¥295,000	¥242,000	▲¥53,000	OB連合会、駅伝報告会など
4	現役との親睦、他	¥100,000	¥120,500	¥20,500	OB戦、OB総会費用など
合計		¥1,695,000	¥1,652,724	▲¥42,276	

会計監査を実施した結果、適正に処理されていることを確認

青山学院大学ラクロス OB 会
OB 会長 温湯 達也様

会計監査報告書

平成 30 年度青山学院大学ラクロス OB 会 会計決算において監査を実施した結果、収入、支出とも正確に記帳整理されており、いずれも適正に処理されていることを確認しましたので、ここに報告いたします。

平成 31 年 4 月 13 日
会計監査 安本 憲司(13 期)

◆2018年度会計の振り返りと改善に向けた対策の提案

分類	2018年度の振り返り	改善提案
会計運営	実情に応じた軌道修正の必要性	4半期ごとに期中見直しを実施
	会計報告方法(頻度、発信方法)確立の必要性	4半期ごとに校友会HP及びFacebookにて会計報告を実施
現役・コーチとの連携強化	現役予算及び執行状況把握の必要性	現役会計と予算策定、執行状況の確認で連携を図る
	コーチ活動費の把握と実費負担の必要性	交通費などの実費は、月に一度の請求・支払いを実施 実態の把握と全額負担を行う
OB会費徴収率の向上	振込手段の拡充による徴収率向上の必要性	スマホからクレジットカード支払いができる方法を提供
	各代表によるフォローアップ強化の必要性	出欠確認ツールを使用し各代表からフォローアップを実施
	新OB会員(卒業生)へのフォローアップ強化の必要性	卒業前にOB会活動内容の説明と協力依頼を実施

グラウンド代支援をカットし、体力に見合った収支バランスへ

収入:¥1,046,859 支出:¥1,021,150 収支:¥25,709 (単年度黒字収支)

◆収入 前年度実績 ¥1,088,149 予算 ¥1,046,859 差異 ▲¥41,290 (単位:円)

No.	主な項目	前年度実績	今年度予算	差異	分析
1	前年度繰越金	¥1,052,178	¥487,603	▲¥564,575	※合計に含まず
2	OB会費	¥801,140	¥971,850	¥170,710	決済手段の拡充、若い世代を中心としたフォローアップの強化により、前年度比17%アップを見込む ※「【別紙】OB会費_各代別支援状況」参照
3	大学からの支援金 (コーチ活動費)	¥200,000	¥0	▲¥200,000	現役からコーチへ支払う流れへ変更
4	その他	¥87,009	¥75,009	▲¥12,000	産業勉強会の会費・寄付など
合計		¥1,088,149	¥1,046,859	▲¥41,290	

◆支出 前年度実績 ¥1,652,724 予算 ¥1,021,150 差異 ▲631,574 (単位:円)

No.	主な項目	前年度実績	今年度予算	差異	分析
1	現役チームの強化と支援	¥1,252,456	¥700,000	▲¥552,456	グラウンド代/0千、コーチ代/600千、備品代/100千 現状のOB会費状況に鑑みてグラウンド代をカット
2	会員間の交流	¥37,768	¥35,000	▲¥2,768	
3	渉外グループ活動費	¥242,000	¥42,000	▲¥200,000	OB連合会スポーツ振興基金支払いが完了したため
4	現役との親睦、他	¥120,500	¥244,150	¥123,650	スマホ決済にかかる手数料が増加
合計		¥1,652,724	¥1,021,150	▲¥631,574	

OB会費の支援をお願いいたします！

拡充した決済手段

画像はイメージです



青山学院大学ラクロスOB会

HOME ABOUT CONTACT



OB会費 ¥5,000

OB会費 5,000円

¥5,000



OB会費 ¥10,000

OB会費 10,000円

¥10,000



OB会費 ¥1,000

OB会費 1,000円

¥1,000

BASE (ベース) で新規ネットショップを立ち上げ

〈可能な決済手段〉

- ✓ クレジットカード
- ✓ コンビニ・Pay-easy決済
- ✓ キャリア決済
- ✓ 後払い決済

*購入者情報に期を明記ください

氏名 姓 名

従来の決済手段

OB会口座を現会計担当名義の口座へ変更

銀行振り込み

三井住友銀行 つつじヶ丘支店 普通預金 口座番号 1826044

青山学院大学体育会ラクロス部 OB (OG) 会 会計 安本 憲司

*振込時は期・名前を明記ください (例 #11 アベイチロー)



I. 19年度 青学ラクロスOB会活動方針のご説明

- 1. 中長期視点の試み
- 2. 短期の地に足をつけた取組み
- 3. 組織の変更

II. 会計報告 ・ 19年度予算

III. グループ別活動報告・チーム強化プロジェクト

IV. 決議 ～多くの質疑をお受けし回答後に～

V. コーチ体制

総務グループの2018年度取り組み実績

取り組み(1) 2018年1月～2019年2月まで計7回、産業勉強会を開催いたしました。
※産業勉強会より、期首予算として支出計画10万円予定に対して、
45,000円(正味37,232円)寄付することができました。



取り組み(2) 2018年3月、就活支援メンター制度(ABM)を立ち上げ、
現役生の就活支援をサポートすることができました。
※2018年12月には青山キャンパスにて、初の就活セミナーを開催。



取り組み(3) 2018年のリーグ戦より、Player！！をリリースし、スマホから試合を
タイムリーに観戦できる環境を提供することができました。
2019年リーグ戦より、Player！！アプリより、寄付できる仕組みを導入します。



「現役生とOBとのリレーション強化」および「OB同士の縦横のリレーション強化」に貢献することができました。2019年は更なる、“青学ラクロスの活性化”を目指します。

取組み(1) 「産業勉強会」発足経緯

<経緯>

- ✓ 青学男子ラグロス部は1987年に誕生して以来、今年の卒業生を含めると、OBの数は約300名に達しました。
- ✓ 現在、現役生の部員数は100名超と体育会の中でも最も大きな組織の一角となり、今後OB数は急角度で増加する見込み。
- ✓ こうしてOB会組織が大きくなっていく中、「OB同士がこれからの社会変化に関する情報を共有し交換できる場」、「専門性を持った講演者からの知見を獲得できる場」、「現役生がOBと接点を持ち、各産業における最先端の情報を入手できる場」を提供することで以下の目的を達成したいと考え、2018年1月、「産業勉強会」を発足致しました。

<目的>

- (1) 勉強会を起点として、人間的に成長を続け、社会で活躍できる人材を輩出すること
- (2) OB・OGが、各産業における現況・未来像・専門的知見を知ることで、自社で更にご活躍頂く機会のご提供
- (3) 現役生の皆さまに、OB・OGとの交流の場として活用頂くことで、就職活動支援の機能を果たすこと

取り組み(2) 「就活支援メンター制度 (ABM)」発足経緯

<経緯>

- ✓ これまで就職支援について、青学ラクロスOB会主導の現役生に対する組織的アプローチが出来おりませんでした。
- ✓ 第1回および第2回産業勉強会に参加頂いた現役生に対するアンケート結果から、産業勉強会事務局が中心となって、2018年3月26日、青学ラクロス現役生のための就活支援メンター制度 (ABM) を発足するに至りました。

※ABM = Agulax Backup by Mentorの略称

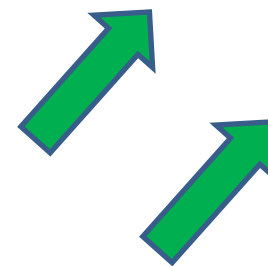
<支援内容>

1. 就活セミナーの開催
2. エントリーシートの添削
3. 就活全般の相談受付
4. コラム・有益な情報の発信
5. OB訪問のフォローアップ (現役生志望企業で働くOBへメールにてコンタクトし、橋渡し)

2019年度 取り組み強化ポイント

(1) 産業勉強会

- 現役生と一体となり、出席人数を増加
同時に、“講師ネットワーク”の拡充
- 女子ラクロス現役・OGの更なる巻き込み



(2) 就活支援メンター制度 (ABM)

- 現役生の内定率100%、社会で活躍できる人材輩出



(3) Player!!アプリ

- リーグ戦の実況中継、寄付金納付の利便性向上



2019年度 チャレンジ施策

(1) 産業勉強会

9月同窓祭の活用

(2) 就活支援メンター制度 (ABM)

11月大学・連合会共催就職説明会を利用した
ABM若年メンバー募集拡大

(3) Player!!アプリ

Player!!アクセス者のトレース分析

Player!!アプリを現役生の両親に送ることを検討

チーム強化Pjt

1. アナライジング強化

① アナライジングシステム導入支援

- a. SPLYZA Team(ラクロス日本代表、早稲田男子ラクロス部)
- b. スポーツコード(バスケB league、アメフト・ラグビープロチーム)

② 学生アナライジングスタッフ活用への提案

2. プレーヤーデータベース構築(選手能力の一覧化)

3. スポーツ支援団体・機関情報収集・蓄積

例、森永製菓 トレーニングラボ

IMG(プロスポーツ選手マネジメント会社) etc.



I. 19年度 青学ラクロスOB会活動方針のご説明

- 1. 中長期視点の試み
- 2. 短期の地に足をつけた取組み
- 3. 組織の変更

II. 会計報告 ・ 19年度予算

III. グループ別活動報告・チーム強化プロジェクト

IV. 決議 ～多くの質疑をお受けし回答後に～

V. コーチ体制

本日のOB総会における決議事項

1. 会則の改訂

(変更前)

本会の会費は、1口5,000円として、1口以上、任意の口数とする。

(変更後)

本会の会費は、1口1,000円として、1口以上、任意の口数とする。

2. 組織体制

- ・幹事長の変更(竹花→江幡)
- ・新幹事として、是永の選任
- ・会計監査として、田中雄一郎の任命

3. 2019年度会計予算

- ・2019年度の予算に関する承認



I. 19年度 青学ラクロスOB会活動方針のご説明

- 1. 中長期視点の試み
- 2. 短期の地に足をつけた取組み
- 3. 組織の変更

II. 会計報告 ・ 19年度予算

III. グループ別活動報告・チーム強化プロジェクト

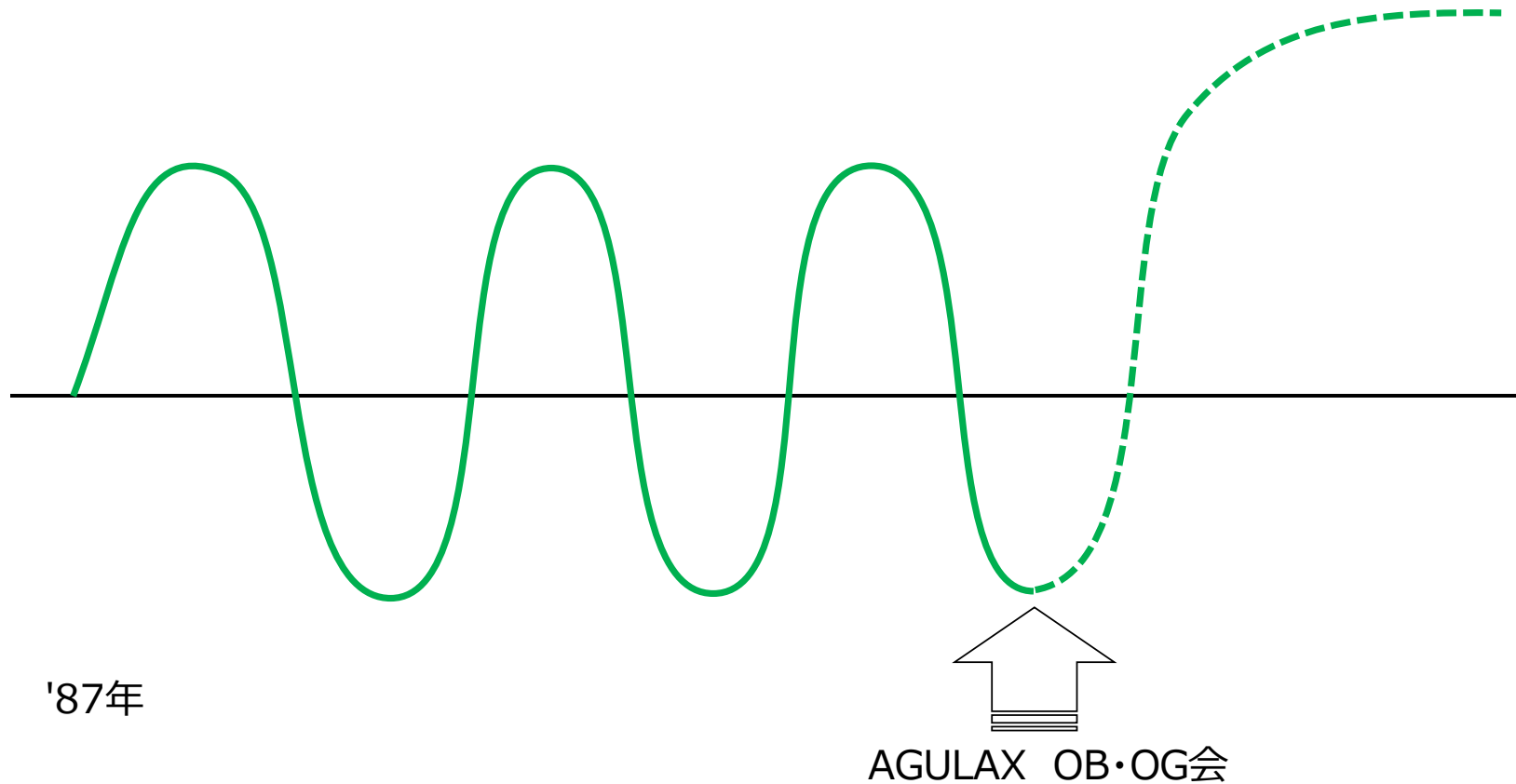
IV. 決議 ～多くの質疑をお受けし回答後に～

V. コーチ体制

V. コーチ体制

<参考>

各種条件が揃えば1部昇格に挑戦も近年は苦戦



家族・仕事に頑張るOBが結束しはじめた若い団体

OB会は90年代より活動し2002年10月にOB会の中に後援会を発足させ、現役チーム支援を目的に活動を続け現在に至る。OB会員数は19年度末時点で約270名

創部は1987年、体育会承認は2010年。1991年に第1回ラクロス全日本選手権を制覇、過去に代表選手を多く輩出。現在2部リーグ所属も部員数男子約100名の大所帯に拡大。

後援会として体育会OBOG連合会にも参加。直近5年間では、17年度OB会はOB会員の一丸化に向け対象領域を徐々に強化・拡大。OB会則を定め顧問熊谷教授へ定期報告する等、関係者への理解活動を促進。

18年度に校友会アイビーグループに入会しHP開設し情報基盤を整備。

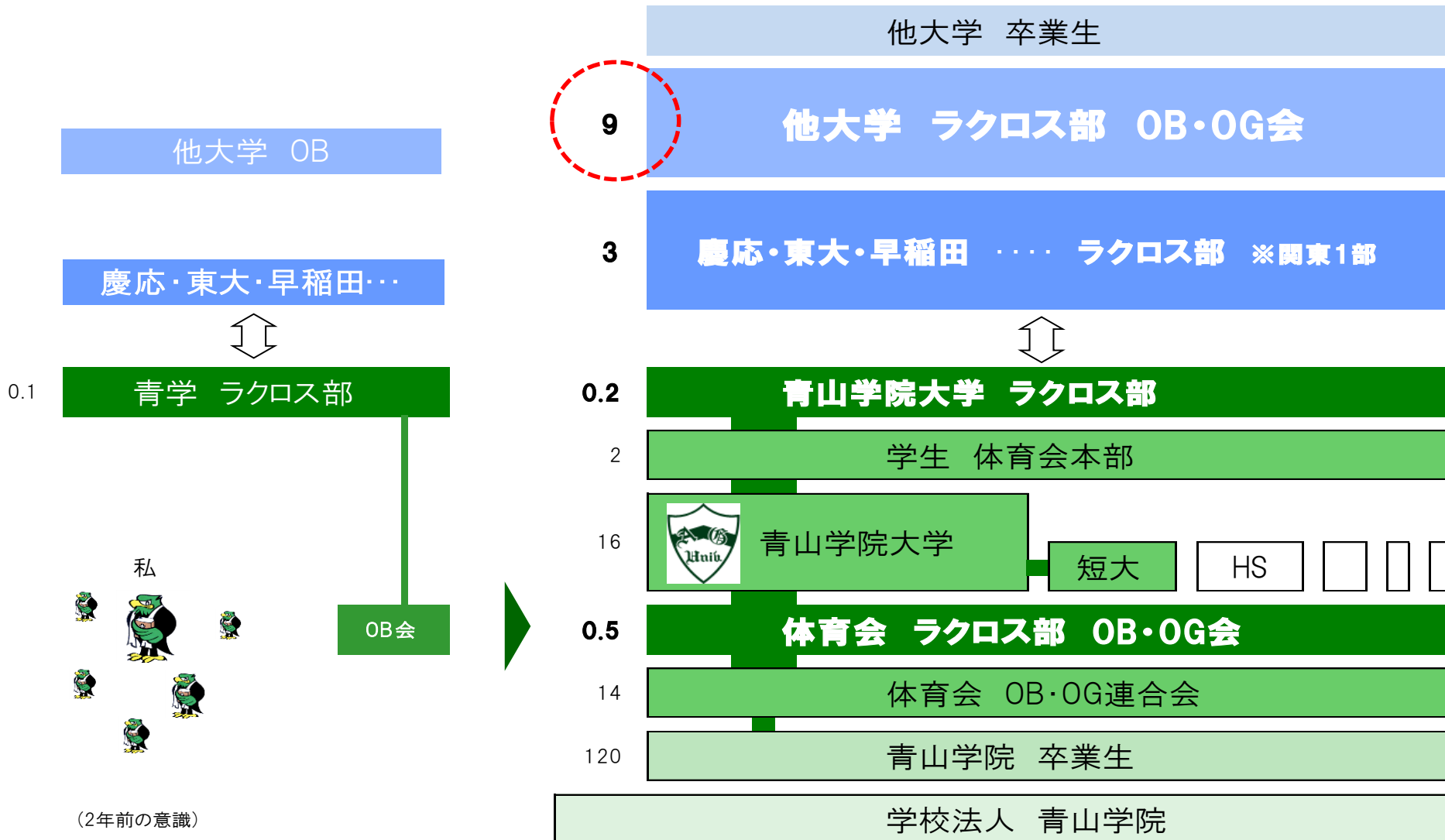
また、未来指向で中長期ビジョンの議論を通じ我々が将来なりたい姿を並行議論しOB会員同士の交流と現役生の未来の活躍を支援するために活動量を段上げ。将来にわたる持続的且つ強固な基盤構築に向けた具体的活動の一例として、18年1月にOB会主催の産業勉強会を新規に立ち上げ、OB(OG)が自ら学習する機会を創出。

大学が掲げる文武両道の精神の下、OB(OG)会員同士の交流と現役生支援を軸としつつ学生も参加できる産業勉強会と就活支援を結びつけながら生涯学習機会の幅を拡げ、愛校精神を一段高め学校法人青山学院に貢献しようとしている

外部環境

現役チーム100名は他大学OB・OG会9000人と競う

(千人)推

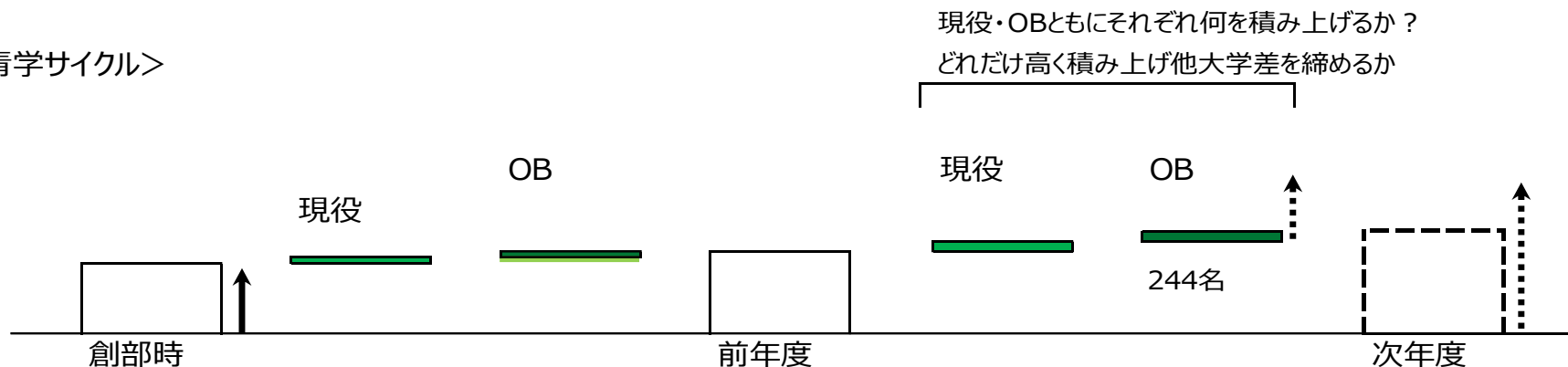


内部事情

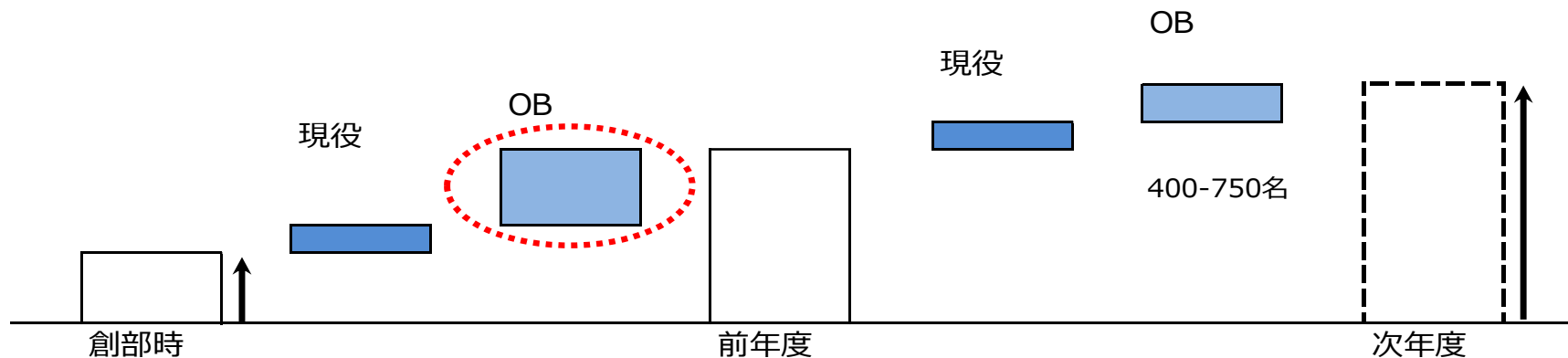
我々はしっかりと前年を振り返る文化が希薄で引継げないのか

チーム力強化 イメージ

<青学サイクル>



<慶応・早稲田ほか 他大学>



他大学に劣らないOB会へ挑戦は始まったばかり

青山
学院

▼16/10 学生スポーツ支援課 発足

▼7/4 AGUJ-杯® セッション

▼9/14 入部-ツテ 8大学選定

▼11/9 AGUJ-杯® セッション



東京五輪2020

ラ
ク
ロ
ス
部
O
B
会

18年度以降に向けベンチマーク検討

・産業勉強会

- ・OB総会
- ・OB・OG会則
- ・コーチング体制見直し etc.

03年

17年度

18年度

XX年度

現役より

▶ 自己紹介

▶ PV上映

<https://youtu.be/fDIIfymDQKH8>

▶ 副将挨拶

▶ 情報発信について

情報発信について

▶ HP

- ・ 青山学院大学体育会男子ラクロス部

<https://agulaxmen.com>

▶ Facebook

- ・ 公式ページ 青山学院大学体育会男子ラクロス部

▶ Twitter

- ・ 公式アカウント @agulax_men

▶ Instagram

- ・ 公式アカウント @agulax_men

情報発信について

▶ Twitter

- 速報用アカウント @agulax_men_

▶ 速報アプリ Player!

- 公式アカウント 青山学院大学（男子）

App storeから無料でダウンロード可能

（* 現在Android版はありません。）

